

ワンチームで「広島で学んで良かったと思える広島で学んでみたいと思われる日本一の教育県の実現」を!

県連小速報

令和6年度 No 5

3月3日発行

広島県連合小学校長会事務局
広島市東区光町一丁目 11-5-1003
TEL082-263-6381 FAX082-262-3822
E-Mail: kenrensho@do8.enjoy.ne.jp

教育者表彰（文部科学大臣表彰）受賞 広島県教育賞・広島県教育奨励賞受賞

祝

教育者表彰（文部科学大臣表彰）

学校教育の振興に関し、特に功績顕著な教育者の功労をたたえ文部科学大臣からこれを表彰するもの。

中谷 一志（廿日市市立廿日市小学校長）

《功績概要》

広島県教育委員会において、指導主事、管理主事として教育指導や人事サービスに従事し、本県教育行政の振興に寄与した。

広島県西部教育事務所芸北支所指導課長、支所長として、管内の市町教育委員会及び学校に対する的確な指導・助言を行うとともに、広島県教育委員会義務教育指導課長、個別最適な学び担当課長を歴任し、学びの変革の全県的な普及・充実に貢献した。

廿日市市立宮園小学校長として、個別最適な学びに関する実証研究事業の指定を受け、自由進度学習を中核とした「自立した学び手」を育成する研究を行った。その先進的な取組は県内のみならず、県外からの視察も受け入れ、研究事業の成果を還元・普及した。

教育行政の経験を通して得た高い見識と先見の明により、公立学校の果たすべき役割を明確にし、当該校の教職員の育成にとどまらず、大竹市・廿日市市公立小学校校長会長として、他校の校長等にも助言した。

中央教育審議会の臨時委員として、国の今後の教育の在り方について、学校現場の立場から意見を述べている。

広島県教育賞・広島県教育奨励賞

学校教育において、教育賞は功績が特に顕著なもの、教育奨励賞は成果等が他の模範とし推奨できるものを県教育委員会が表彰し、県教育の振興・発展に資する。

【広島県教育賞】（個人）

山田 幸治（呉市立広南小学校長）

【功績概要】

「心の元気を育てる道徳教育推進リーダー養成事業」を企画し、各市町の道徳教育推進リーダーの養成、小・中学校における道徳教育の充実に努めた。

令和5年度から「道徳教育推進拠点地域事業」の指定校の校長として、「Society5.0を生きる資質・能力の育成～主体的に考え、議論し、自己の生き方を考える道徳科の授業づくりを通して～」を主題として研究に取り組むとともに、各教科等を通じた道徳教育を推進し、成果を上げた。

令和5年度には、広島県連合小学校長会副会長、令和6年度には広島県連合小学校長会会長を務め、校長として卓越したリーダーシップを発揮し、適切な指導・助言を行い、県内小学校長の資質向上に貢献した。また、豊富な見識と実践を生かし、県全体の小学校教育の充実と発展に大きく寄与した。

【広島県教育奨励賞】（団体）

府中町立府中中央小学校（校長 有崎 美紀）

【功績概要】

学校経営理念「学校は子どもが育つ土壌である」のもと、校長を中心にコミュニティ・スクールを核とした地域とともにある学校づくりを推進している。

教育課程の実施に当たっては、地域の人的・物的資源を活用したり、土日や長期休業を活用して地域行事との連携を図ったりしながら、目指すところを社会と共有・連携しながら実現させている。学校評価に係る保護者アンケートの「学校の教育方針や教育活動に満足していますか。」の項目においては、93%を超える肯定的評価を得ている。また、外部の力を積極的に活用することで、教職員が子供と向き合う時間を創出し、その時間を授業改善に活用することで、教員の授業力向上を図っている。

教育課程の質的向上に向けたこれらの取組を、令和5年度コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進「地域とともにある学校づくり 学校を核とした地域づくり」フォーラム等で実践発表するなど、当該校の取組を県内に広く発信しており、県内の学校における社会に開かれた教育課程の実現に寄与している。

☆ 今年度最後の各役員会の開催 ☆

1月7日に第7回幹事会を、1月24日に第3回総務会を、2月7日に中国地区小学校長会理事会・研修会を、2月21日に第4回理事会を開催しました。

中国理事会では、令和8年度中国地区広島大会の研究主題・副主題、分科会趣旨も含めた大会要項案を提案しました。

県連小理事会では、協議に入る前に、「服務規律の確立について」と題し、広島県教育委員会教職員課人事管理監 大庭 潤也 様から、ご講話をいただきました。

協議では、次の事項について審議しました。

- ・令和7年度総会・研究大会について
- ・令和7年度県公連研究大会について（主幹は県連小）
- ・不祥事防止対策特別委員会の取組状況 等

総会・研究大会では、文部科学省初等中等教育局教育課程課長 武藤 久慶様をお招きしてご講演いただくことになりました。



☆ 県連小の一般会計の財源確保に向けて ☆

理事会の中で『県連小一般会計の財源確保について』簀戸浩之諮問委員長から山田幸治会長に答申が手渡されました。

今後、会長の指示のもと、次のことについて方策を検討し、答申内容の実現に向け取り組むこととなります。

【支出削減に関するもの】

- 1 「もみじ」等印刷物発行方法を検討する。
- 2 デジタル化やオンライン化を進める。

【収入増に関するもの】

- 3 基金から研究大会へ補助金として拠出する。
- 4 負担金の増額を検討する。
- 5 県連小と広島県公立中学校長会（以下「県中」という。）との負担金・会費の納入についての「申し合わせ」を見直す。
- 6 有価証券や信託などを利用した資金運用を検討する。
- 7 大会冊子への企業広告掲載や賛助金等を検討する。



☆ 第73回中国地区広島大会に向けて ☆

理事会では、令和8年11月20日(金)に福山市で開催する第73回福山大会について、花田修教育研究委員長、橋本秀基現地実行委員長、芳川雅行県連小事務局長からそれぞれ説明がありました。

そして、2月28日(金)に福山市立南小学校で現地実行委員会準備会が開催され、開催に向け本格的にスタートしました。

☆☆☆☆☆☆ 事務局からのお願い ☆☆☆☆☆☆

【年度末・年度始め事務処理について】

(1) 感謝状・記念品料について

昨年度から定年延長になりましたが、感謝状・記念品料は役職定年時にお渡しすることになりました。感謝状等は該当校の教頭先生宛に送付します(役職定年の方については3月上旬、それ以外で校長会を退会される方は新聞発表以後)。

記念品料は代表事務取扱者宛に、該当者のお名前と金額をお知らせしますので、各組織団体で立て替えておいてください。4月の第1回理事会で事務局よりお支払いします。

(2) 令和7年度初めの事務のお願い

各組織団体の代表事務取扱者の方に宛てて、

- ・「組織団体会員名簿」、「組織団体役員名簿」等の作成のお願い
- ・新年度会長候補者の選出その他のお願い

の文書を、3月中にメールで送付します。

4月9日(水)までに事務局宛メールでご報告をお願いします。

これらのご報告をもとにして、4月18日(金)に第1回理事会を開催します。

【年度始の主な日程・大会期日】

令和6年度監査	4月5日(土)	10:00	県連小事務局
第1回幹事会	4月5日(土)	13:30	東区民文化センター
第1回理事会	4月18日(金)	13:30	東区民文化センター
第1回各委員会	4月24日(木)	14:00	東区民文化センター
総会・研究大会	5月15日(木)	10:30	広島県民文化センター

この1年間、事務局へのご協力ありがとうございました。

